



## 肝炎コーディネーターをより身近な存在に

秋も日増しに深まり、朝夕の冷え込みも厳しくなってきましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

さて、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るいましたが、肝炎コーディネーターにとってもその影響は例外ではありませんでした。対面の機会が制限され、活動にも工夫が求められるようになりました。5類移行により、感染対策を行いつつ、活動を再開される方が多いことと存じます。

本通信では、肝炎コーディネーターのみなさまの活動がより充実したものとなり、府民の方にとって肝炎コーディネーターがより身近な存在となるよう、様々な活動事例をインタビュー形式で紹介していきます。

### 第6号の内容

【お知らせ】世界肝炎デー、肝炎コーディネーター養成研修会のご案内

【特集】カンゾーさんが行く 京都府肝炎コーディネーター インタビュー

【Q&A】素朴な疑問にカンゾーさんがお答えします。

### 【お知らせ】世界肝炎デー（7月28日）、啓発イベントを開催しました。



「世界肝炎デー：令和5年7月28日」の啓発イベントとして、ゼスト御池にて京都肝炎友の会、京都府、京都市が協働し、活動したときの写真です。肝炎コーディネーターの出張相談ブースでは、多くの方が相談していらっしゃいました。

## 【お知らせ】 肝炎コーディネーター養成研修会のご案内（フルオンライン研修）



京都府では、肝炎コーディネーターの養成研修会を10月から開始しました。フルオンライン研修ですので、研修期間内であれば、いつでもご都合の良い時間に受講できます。研修期間、対象者、受講方法は以下の通りです。

- 【第1期】（期間） 10月10日～31日  
（対象者） 医師、薬剤師、看護師、肝炎患者及び家族、自治会、自治体職員
- 【第2期】（期間） 11月10日～30日  
（対象者） 歯科医師、栄養士、医療事務、産業保健師

受講方法：①受付登録⇒②YouTube から動画を視聴⇒③認定試験を受験⇒④認定証を発行  
受付から認定までフルオンラインで受講できます。

肝炎コーディネーターに認定済みであり、受講のみ希望する方は第1期、  
第2期に関わらず視聴できます。認定試験の受験は必要ありません。



申し込み 京都府ホームページから <https://www.pref.kyoto.jp/kentai/kanencoordinator.html>

## 【特集】 カンゾーさんが行く 京都府肝炎コーディネーター インタビュー

記念すべき初回のゲストには、患者の立場から、京都府で初めて肝炎コーディネーターに認定されました 京都肝炎友の会 <sup>やまぞえ</sup>山副スヘノさん をお迎えしました。

山副さんは、府民にとって身近な肝炎コーディネーター（啓発担当）のひとりです。どのような活動をしているのでしょうか。

読者のみなさまが気になっていることを、京都府肝炎対策のマスコット「カンゾーさん」がインタビューしてきました。



<sup>やまぞえ</sup>山副さん、こんにちは。読者のみなさまへ自己紹介をお願いします。

こんにちは。「京都肝炎友の会」世話人代表の<sup>やまぞえ</sup>山副スヘノです。

京都肝炎友の会は、30年前に肝炎の患者さん達によって設立されました。ウイルス性(B型・C型)や自己免疫性など、あらゆる肝炎患者のための患者会として活動しています。

具体的には、広報誌「<sup>きょうかんと</sup>京肝友ニュース」を発行し、講演会や世話人会で肝炎に関する情報交換や、患者同士の勉強会を開催しています。患者同士で交流することは、肝炎の病気のことだけでなく、仕事・人間関係など患者同士だからこそ話ができることもあり、その交流を通じて、私も含めて患者同士で励まし合っています。

また、一般の方へ向けても、肝炎ウイルス検査の受検勧奨やウイルス性肝炎陽性者に対する専門医への受診などの啓発を行っています。

現在は、世話人全員7名と一般の会員から4名が肝炎コーディネーターの認定を受け、患者が適切な医療や支援を受けて安心して暮らせる社会の実現を目指して活動しています。





肝炎コーディネーターを志した理由をお聞かせください。



肝炎コーディネーターに期待される活動は、これまで私たちが実施してきた活動に近く、経験を活かすことができると考えたからです。今後も、患者の目線から、肝炎コーディネーターとして患者や家族が必要としている支援や情報を発信したいと考えています。



患者の立場からの肝炎コーディネーターの認定は京都府で初めてとなります。患者だからこそできることはあるでしょうか。



肝硬変・肝臓がんで亡くなられた多数の方達の想いを胸にして、現在も患者として肝炎、肝硬変、肝臓がんの症状と向き合う私たちだからこそ、一般の方にも広く伝えることができると考えております。

早期発見、早期治療が必要なことは、肝炎も同様です。肝炎検査などの啓発や受診を勧めることはとても大切ですが、自覚症状が少ないため、一般の方に理解してもらうことは簡単ではありませんね。

そこで私は、肝炎に関する情報を提供する前に、必ず、自分の体験をふまえて相手が置かれた環境や気持ちを理解するよう心がけています。



肝炎患者は、どのようなことに苦しんでいて、いかなる助けを必要としているのでしょうか。



ウイルス性肝炎は、患者の健康・生命を脅かすだけではなく、差別や偏見は、残念ながら現在でも見聞きします。

一例としては、歯科医療における治療拒否が起きています。肝炎患者は、病気・治療の負担だけではなく、差別や偏見も受けており、患者が置かれた状況を広く理解してもらうことが必要です。

肝炎コーディネーターのみなさまには、ウイルス性肝炎という病気・治療の知識だけではなく、肝炎患者に対する差別・偏見がなくなるように、正しい知識を広く提供し、肝炎患者が安心して暮らせる社会を形成いただくことを望んでいます。



患者・家族にとって、肝炎コーディネーターはどのような存在なのでしょうか。

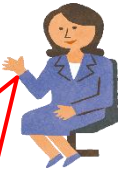


我が身のこととして差別・偏見を受けた患者がどうしたらよいのか分からないこともあります。家族に相談できない患者も多数います。治療のこと、薬のこと、差別・偏見のことなど肝炎患者が問題に直面したとき、気軽に相談できる存在が必要です。

京都府肝炎コーディネーターは、悩みを抱えた患者・家族から相談を受けて、必要な情報を必要ときに提供できる、患者・家族にとって安心を与える存在であってほしいと考えています。



最後に、読者のみなさまへメッセージをお願いします。



肝炎コーディネーター制度が全国で始まり、京都府では、私たち患者会も肝炎コーディネーターになることができました。今後も京都府と協力して、肝炎対策が前進するように頑張りたいと考えています。また、医療従事者などの各分野の肝炎コーディネーターのみなさまとも連携して、肝炎と向き合っている患者さん・ご家族の手助けをしたいと思います。

肝炎コーディネーターは、様々な分野の方が、それぞれの強みを活かすことで、患者をサポートする制度です。みなさま、一緒に頑張りましょう！！

イラスト提供 : 田中征一郎さん(京都肝炎友の会、京都府肝炎対策協議会委員)、肝炎情報センター

インタビュー編集: 牧亮太さん(京都肝炎友の会)、井上裕智(京都府健康対策課)

## 【Q&A】このコーナーでは素朴な疑問にカンゾーさんがお答えします。



そもそも、「京都府肝炎コーディネーター」って何なの？  
どんな活動をしているの？

「京都府肝炎コーディネーター」は、厚生労働省からの通知により京都府が養成、認定する資格です。

府民が肝炎を正しく理解し、適切な医療や支援を受けられるように医療機関、行政機関への橋渡しをしています。



私も肝炎コーディネーターになれるの？

医療関係者、患者やその家族などの一般の方まで幅広くいらっしゃいます。

みなさまがそれぞれの立場を生かして、医療担当または啓発担当として活動されているんです。





## 世界肝炎デーって？

医学者バルーク・サミュエル・ブランバーグ氏の誕生日にちなみ、WHOが毎年7月28日を世界肝炎デーに制定しました。

世界的なウイルス性肝炎の蔓延防止、患者・感染者に対する差別偏見の解消や、感染予防の推進を目的としています。

ブランバーグ氏はB型肝炎ウイルスを発見し、診断法やワクチンを開発し、1976年にはノーベル生理学・医学賞を受賞しています。



## ～ カンゾーさんの編集後記 ～

肝炎を取り巻く環境や制度は、患者さんにとって難しいものです。患者さんが我が身のこととして直面したときの気持ちを理解することが、肝炎コーディネーターとしての活動の足がかりになると気づかされました。

患者さんの気持ちを理解するうえで、京都肝炎友の会の山副さんは「安心」ということばを繰り返していたことが印象的でした。

肝炎コーディネーターは、患者さんが適切な医療を受け、安心して暮らせるよう、患者さん・ご家族、そして職場の同僚へ正しい知識を分かりやすく伝える、いわば「道しるべ」の役割が求められているのですね。

京都肝炎友の会の山副さん、ありがとうございました。「京都府肝炎コーディネーター通信」ではみなさまの紙面交流を目的に、ご寄稿をお待ちしています。

次号では肝炎コーディネーター（医療担当）の投稿を予定しています。

## 啓発資材のご依頼はこちらから

<https://www.shinsei.elg-front.jp/kyoto2/uketsuke/form.do?acs=kanencoordinator3>



発行：京都府肝炎コーディネーター事務局

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

電話：075-414-4739 FAX：075-431-3970

京都府健康福祉部健康対策課

[kentai@pref.kyoto.lg.jp](mailto:kentai@pref.kyoto.lg.jp)